１０月３１日（土）ハロウィン

土曜日のハロウィンというのは、久しぶりだそうです。出かけた先でも、大小様々なハロウィンイベントが行われていました。すっかりこれも年中行事になりました。私が子供のころにはありませんでした。今日は、いろんなところで変装したり、化粧したりする子供や若者を見ることができました。中には、私と同年代と思われる方にも会いました。



１０月３０日（金）見送り・体育・風船

二年生が遠足に出かけて行きました。出発したのはちょうど一時間目が始まる前。校庭には誰もいない時間でした。出発式を終えて、いざ出発という時、遠くから「行ってらっしゃーい」という声が聞こえました。体育のために出てきた六年生です。大きく手を振って、これ以上のない大声で二年生を見送ってくれました。朝から心が晴れ晴れとしました。（天候は曇りでした）



おうぎ学級の体育を見ました。この日は初めから最後までずっと見せてもらいました。運動への意欲は、とても素晴らしく、それよりも感心・感動してしまうことがありました。それは、マットやとび箱などなどの準備、そして片付けです。「すばやく」「なかよく」「ただしく」行っていました。無駄がありません。表情も生き生きとしています。体を鍛えてくれるのは、何も主運動だけではありません。集合、整列、準備、片付けでも鍛えられます。むしろ、このような時間に差がつくのだと感じました。



あるクラスから大きな声援が聞えて来たので入って見ました。すると風船バレーボールが行われています。黒板に書かれた字から〝ハロウィンパーティ〟だと察しました。試合が白熱していることは、見て分かりましたが、ここまで熱狂している理由は、最初、分かりませんでした。しばらく見ていて、それが分かりました。実況中継役が二



人いて、試合を数倍盛り上げていたのです。

１０月２９日（木）作業所・読み聞かせ・計算



三年生が扇台作業所へ行って、仕事体験をしました。空き缶をつぶしたり、しおりを作ったり、陶芸品を作ったり、機織りをしたりしました。職員の方々と一緒に作業する子供たちは、張り切って取り組んでいました。自分が作ったものが実際に売られたり、お金で引き取ってもらったりする〝仕事〟を実感したと思います。「働く」とはどんなことなのかも、学んだことでしょう。



本日の国語タイム、低学年は読み聞かせの時間でした。先日の生活目標朝会では、担当から「読書のすすめ」を話しています。良い本にたくさん出会ってもらいたい秋です。子供から送られてきた感想の中に、仕事をしている人の内容が多数ありました。「おまわりさんが休みに何しているか分かった」「消防士さんがキャンプに行った時の話がおもしろかった」「パン屋さんは休みの日には、パンを焼いていると思ったけど・・・」などなど。ここでも、読書を通して〝仕事〟を感じてくれたようです。



一年生の算数、子供たちが机の上に計算カードを並べていました。並べ方の見本は、TV 画面で映し出されていましたが、それぞれが、それぞれの規則を見つけて並べていました。答えが同じものを並べる子、ひかれる数を揃えている子、縦にそろえる子、横にそろえる子、それぞれです。並べながら、ひき算の性質を考えてくれたと思います。どんな「？」が生まれたのか、聞いてみたかったです。

１０月２８日（水）掃除・健診・秋



音楽朝会が二日続いたので、久しぶりの掃除となりました。一年生にも、しっかり無言掃除が定着しています。掃除強化週間が始まるので、子供たちに掃除についての意識を聞いてみました（〝すぐーる〟にて）。「学校をピカ

ピカにしたい」「だまってみんなでやりたい」「一年生のために、きれいにしておきたい」などの思いが送られてきました。最後に紹介した声の主は、一年生の教室前のトイレ掃除の子だと思います。嬉しい声です。

午後は、就学時健康診断が本校を会場にして行われました。本校の職員も手伝いをさせてもらいました。来年度扇小に入学してくる子たちがほとんどで、あいさつをすれば多くの子は返してくれました。顔を見て「あ、あの子の妹（弟）だ」と分かる子もいます。姉（兄）を通じて私を認識している子がいて、私より先にあいさつしてくれました。大きな学校を歩き、きっと驚いたはずです。



あるクラスの廊下に「秋の味覚」なる掲示物が貼りだされました。ブドウや葉が貼ってあります。ここを通るのが楽しみなのは、日々増えているのです。まだスペースがあるので、どんな味覚が登場するのか、予想しています。校内の掲示物で、今最も多いテーマはハロウィン。お祭りもいいのですが、このような食べ物や植物が増えてくれると、私は癒されます。



１０月２７日（火）もみじ・バスケ・ネット

音楽朝会では、二年生以上が体育館に集まり、「もみじ」を合唱しました。昨日は、一年生と六年生の歌声を聴いていたので、本日はその迫力に感激しました。途中で体育館を後にして、一年生の出発を見送りに外に出ると、その歌声はしっかり外まで、聴こえてくるのです。一年生のバスを手を振って見送りながら、差し込み始めた太陽の光を感じながら聴こえてきた「もみじ」。幸せな気持ちでした。



六年生が体育でバスケットボールを行っていました。試合が終わり、振り返りをしている場面。いろんな声が聞こえてきました。「めあてをみんなが意識しているから、どんどん強くなっている」「チーム全体で声をかけ合っているからうまくいっている」「みんなにボールが渡ってきたので、楽しくなった」「パスがたくさんできた。強くなる」



などなど。感心するほど、しっかりと自分たちのプレーを見つめていたようです。



ＰＴＡの方々のお力で、二年生～五年生までに「ネットモラル教室」を実施できました。二、三年生には難しかったかもしれませんが、早めに知っておいた方が良いことばかりです。「個人情報流出」「ネットいじめ」「なりすます悪人、犯罪者」「不正アクセス」「ネット加害者になる可能性」などなど。スマホを使う際に、気をつけようと思う意識は高まったと信じたいです。

１０月２６日（月）六年生と・バレー・守る



明日が音楽朝会ですが、一年生は遠足で参加できません。そこで、一年生だけ前日に行うことにしました。音楽朝会は毎回「歌うこと」と「聴くこと」を大切にしています。「一年生だけの音楽朝会」の話を六年生にしたところ、担任も子供たちも快く、一緒に歌ってくれると言ってくれました。そんな経緯で、初めてとなる「一年生と六年生」の音楽朝会が行われました。ペアになって合唱するなど、今までにはない場面もありました。楽しかったです。



五年生が体育でバレーボールに取り組んでいました。この日のめあては「予想して動く」です。ボールがどこに飛んでくるかを予想して取りに行く力を高める活動が行われました。ペアで、一人が左右どちらかにボールを投げ、もう一人がそれを取る活動が行われました。投げての子もレベルをどんどん上げていき、ボールのスピードを高めたり、左右の幅を広げたりしていました。これがゲームで生きるかどうか。



三年生が社会で、「暮らしを守る活動」について学び合いました。人々がどんなことをして、自分たちの暮らしを守っているのか、自分たちが知っていることをまず発表しました。「訓練をしている」「すぐ逃げられるようにしている」「危険な場所には看板をつける」「ニュースを流す」「みんなの健康を調べている」「誰かが見守りをしてくれ

る」などなど、子供たちの生活の中に根付いている活動が出てきました。これをさらに深めていくのが、これからの学習です。

１０月２５日（日）運動会



本日は、午前中、校長室で仕事。８時頃になると、野球少年少女が校庭に来て、元気な声を出していました。「〇〇、今のいいぞ！」「お母さんが喜ぶぞ」などのコーチの声も聞こえてきました。昨日とは違って、午前中は良い天気だったのです。午後、自宅近くを歩いていると、昨日の運動会が延期になったことが分かる校庭がありました。子供が作った案内も、心なしか寂しそうでした。

１０月２４日（土）祭り



万燈祭に参加しました。開会行事では、中学生のパフォーマンスもあり、雨を忘れさせるほど盛り上がりました。たくさんの扇っ子や、扇小卒業式にも会いました。お囃子をやっていた子は、素敵なお化粧をして、張り切って演じていました。地域の方々にもたくさん会って話ができました。年に一度の、市の大イベント。時間を忘れてしまい、帰宅したのは、辺りが暗くなった時間でした。

１０月２３日（金）お別れ・出発・目標



教育実習生とのお別れ会が、体育館で行われていました。ダンス、マジックなどの出し物を、ステージ上で行っており、子供たちのすごさを感じました。特にダンスや歌を恥ずかしがらずに行っている子が多く、「すばらしい表現力」に感激するほどでした。マジックなどは、大型ＴＶに手元を映し出すなど、表現の仕方の工夫にも驚かされました。さて、実習生はもっと感激したはずです。教育現場には、プロとしてすぐに戻ってきてくれるでしょう。



四年生が三度目の正直で遠足に出かけて行きました。肌寒さは感じましたが、良い天気です。子供たちの喜びも大きく、「やっと行ける」ことをかみしめていたようです。何が楽しみかを数人に聞くと、一番は「お弁当」でした。「手作り弁当」「ママの作ったお弁当」「みんなで食べるお弁当」などなど、自然の中で楽しくおいしく食べたと、後で報告を受けました。

音楽室の廊下にめあてを貼っていたのは、三年生です。「目標・めあてを自分で考えよう」と二学期始業式で話したからか、校内に「目標・めあて」が多く貼られるようになりました。校内音楽会のめあても、一人ひとりが考えたようです。「リコーダーを間違えない」「みんなと息を揃えて歌う」などなど、イベントに向けた目標が並んでいます。



１０月２２日（木）卒アル・漢字・準備



六年生の教室では、学級活動が行われていました。議題は卒業アルバム・クラスページの内容です。楽しそうな提案がたくさん並んでいました。「今だから言えること」への賛成意見が出たところで、ある子が「プロフィールに入れられるものもある」と提案。「前世は〇〇だった」は、そこで書くことに決まっていきました。「卒業」という言葉を聞くと、一年の終わりが見えてきます。

あるクラスでは漢字テストの振り返りが行われていました。先生がTV画面に、間違えが多かった字を映し出し、具体的にポイントを説明していました。感心してしまったのは「〇〇さんは、よくここを間違えている」と一言添えたことです。このような解説は、〝自分事〟として捉えずに聞いている子も多いもの。名前が出た子は、すぐに自分の解答用紙を確認していました



二年生の教室では、数人のグループがいくつもでき、楽しそうな打ち合わせが行われていました。「明日一年生にやってもらうんだ」とある子が教えてくれました。自分たちが作った「おもちゃ」で、一年生に楽しんでもらうため



の工夫をつめていたのです。説明の仕方を練習してた子もいます。「これ、読めないんじゃないの？」などの不安を口にしている子もいます。誰かに楽しんでもらう、貢献の心が、活動を活性化しているようです。

１０月２１日（水）募金・非行・やなせさん



環境ボランティア委員会の子が、赤い羽根募金に取り組んでいます。本日と明日、二日間行います。たくさんの子が初日から募金をしてくれました。募金してくれた子は、とっても嬉しそうな表情でお金を渡し、赤い羽根をもらっています。もちろん保護者の方から預かったお金でしょうが、「役に立ちたい」「役立ててほしい」と言っていました。これも〝貢献力〟の証だと考えました。



三年生が、非行防止教室に参加しました。警察署の方に来ていただき、大事な話を聞かせてもらい、学び合いました。「知らない人についていかない」「絶対に、暴力はしない」「安全第一に生活する」「万引きはしてはいけない」「こんなこともダメなんだと勉強になった」などの感想が届きました。十年ほど前は、この内容は高学年に行っていたのですが、それでは遅いと、ＰＴＡの方々のお力で実現した時間です。



五年生が、やなせたかしさんについての文章で学び合いました。この教材を読んで、それぞれが柳瀬さんがどんな人だと感じるかを考えました。「ヒーロー」「絶対にあきらめない人」「優しい心をもった人」「誰かのために何でもやる人」「どんなにたいへんでも、自分でできることを探して取り組む人」などなどを、文章を根拠に記述し、友達と交流し合っていました。

１０月２０日（火）読書・虫・振り返り



生活目標朝会では、図書担当から読書のよさについての話がありました。読書の効果として「知らないことを知

ることができる」「想像力が高まる」「人の気持ちを考えるきっかけになる」の３つを話してくれました。子供たちが学び合いをする場面もあり、「頭が良くなる」「漢字が得意になる」「ゲームをしないで済む」などの意見が、一年生の教室では聞こえてきました。読書の秋。ぜひ良本にたくさんであってもらいたいです。

一年生が中庭で、虫を見つけていました。先日の全校除草作業のおかげで、雑草がほとんどなく、虫もどこかへ行ってしまったようでした。それでも小さな名もなき虫やコオロギをつかまえては、歓声をあげていました。このような場面では、たくさんの虫をかごに入れている子が、とたんにヒーローになります。「〇〇さん、すげー」との賞賛を集めることになるのです。



各クラスで運動会の振り返りを行っていました。この大イベントを成長につなげるためです。ある学年で配られた用紙には「運動会を通して生かしたいこと」という欄がありました。「自分から行動する」「音楽会でも協力してリコーダーをやる」「時間を守る」「忘れ物をしない」などなどの言葉を見つけました。中に「夢に向かってがんばる」と書いている子がいたので、「どんな夢か」聞いてみました。運動会での努力があれば、その夢は叶いそうだと思ったので、激励を送りました。



１０月１９日（月）スター

振替休業日。見たかった映画が渋谷で公開されていたので、行ってきました。平日なのに、この街は人でいっぱいでした。ただ映画館の座席は、半数未満しか埋まっておらず、快適に鑑賞できました。若いころの私にとってのスターの一人を追ったドキュメント映画。感動するとともに、何かを後世に残したいという思いが沸き上がってきました。微力ながら、生きているうちは、がんばろうと決意しました。



１０月１８日（日）運動会感想



昨日、運動会の感想を〝すぐーる〟でお願いしたところ、本日８時には、５０人以上の子が回答してくれました。「緑組が優勝してうれしかった」「初めて大玉で勝って感動した」「演技が最高に出来た」などなどの感動を教えてくれました。校庭では野球チームが練習をしています。昨日とくらべると静かな校庭です。昨日撮った写真を整理しながら、昨日の感動を再度味わっています。

１０月１７日（土）第５２回運動会



晴天の下（時々強風）、第５２回運動会を実施しました。多くの保護者・地域の方々に見守られ、扇っ子が期待通りの活躍をしてくれたと思います。今年は緑組が優勝しました。点差は９点。大接戦でした。途中経過で点差があまりなかったせいか、得点発表時の緑組の子は喜びを爆発させました。閉会式では代表の六年生が、「フラッグの練習など、みんなでやってきたことが思い浮かぶ」「本番で力を出し切れた」「六年間で最高の運動会になった」と語ってくれたことが、大成功を物語っていると感じました。



集団演技は、低中高ともにとても感動しました。練習の成果を精一杯出し切った感が伝わってきました。開会式でお願いした〝大きな、揃った、元気になる、声も聞こえてきました。動きもキレがあって最高でした。笑顔、真剣、本気な表情にも感動を覚えました。来賓席、敬老席、保護者からも感動を感じた声が聞こえてきました。当日の子供の動きを見て、感極まって涙を流している先生も複数名いました。



大玉送りの結果発表は、閉会式に負けない大歓声が起こりました。練習ではほぼ全敗だった白組が、２連勝。しかもタイムを大幅に縮める記録が出ました。風が心配されましたが、白い大玉は気持ちよさそうに、白組の気持ちのこもった手の上を進みました。緑組の子は悔しがって

いましたが、本番は何が起こるか分からないことを体感できた、とても良い競技になりました。

１０月１６日（金）準備・練習・悲報



午後は、運動会の前日準備。六年生が、張り切って働いてくれました。テントを建てたり、草むしりをしたり、意思拾いをしたりと、担当の仕事を全力で行ってくれました。机や道具を運ぶことも、六年生が行ってくれました。約一時間ですが、「子供がたくさんいると助かる」と心から思える時間でした。「学校のために本気で働いてくれる子がいてありがたい」と思わせてもらえる時間でした。



低中高ともに、集団演技の最終練習が行われていました。担当の声にも、気合と期待が込められてました。ここまで来たら、後は自分たちが納得する演技をしようというメッセージが、何度も聞こえてきました。どの演技も、昨年度と比べてレベルアップしています。好天の下で、早く保護者の方々に見てもらいたいです。本番が楽しみで仕方がありません。



朝、数人の子が校長室にやってきました。「カメが死んでいる」というのです。池に行ってみると、一匹が動かない状態で沈んでいました。息を引き取っているようです。扇っ子に長く愛されたカメの一人が、天国へ旅立ちました。子供の中には「お母さんがいた頃から生きていたんだよ」と、私に悲しそうに教えてくれる子がいました。ご冥福を祈ります。

１０月１５日（木）収穫・音読・モデル



朝、おうぎ学級の子二人＋担任と廊下ですれ違いました。とてもうれしそうな顔をしているので「いいことあったの？」と声をかけました。「今、畑で、野菜を獲ってきたこと」「２つ撮ったので、一つは〇〇さんにあげたこと」「〇〇さんに撮り方のアドバイスをした」などを教えて

くれました。お礼を言って別れる時、違う先生が向かってきたので「〇〇先生にも教えてあげて」と言うと、同じように、嬉々とした報告をしていました。

あるクラスに入ると、国語の教材の音読を行っているところでした。全員が教科書を持っています。しかし普段とは少し違っていました。それは歩き回っている子がたくさんいたこと。歩きながら読んでも良いことを担任が伝えたそうです。自席で立って読んでいる子もいますし、カーテンの陰に隠れるように読んでいる子もいます。友達と向かい合って読んでいる子もいます。自己選択のある活動は、子供の動きが躍動するものです。



学習室に集まっていたのは三年生です。ソーラン節の音楽が流れてきたので、運動会の練習だと分かりました。踊っていたのは、先生一人でした。その踊りを見て、最終確認をしている場面だったのです。それを動画で撮っている先生もいて、子供たちにもう一度送るのだと、知りました。ソーラン節デビューの三年生、本番に向けてイメージトレーニングも万端のようです。



１０月１４日（水）練習・授業・日本一

校長室にいると、運動会練習の元気な声が聞こえてきます。この日も仕事が手につかず、つい校庭に引き寄せられるように行ってしまいました。当日を楽しみにしたいので、あまり見たくないのですが、低学年の集団演技がだいぶ固まってきたようでした。教室で作っていたお神輿も、ここで登場しました。腕の上げ方もきれい、声も元気、表情も良し、ますます本番が本番が楽しみになってきました。



「チャイムが鳴ったら勉強を始める」。昨年度から扇っ子に伝えてきました。３時間目開始のチャイムが鳴った時、たまたま私はおうぎ学級にいました。先生がいません。20分休みの練習や打ち合わせが伸びたようです。黙って見ていると、二人が教科書を開いて音読を始めました。他の二



人は、プリントを出して漢字練習を始めました。先生がいなくても「チャイムで勉強を始める」ことが浸透していると、確認できて嬉しくなりました。

ある子が大きなトロフィー（長さ１m超）と大きなチャンピオンベルトを、校長室にもってきてくれました。その時私は不在でした。何も知らずに戻った私は、そのチャンピオンベルトを見てびっくりしてしまいました。生でこんな大きなベルトを見るのは初めてです。ある全日本の大会で優勝したという報告を、昼休みになっていただきました。扇っ子が校外でも活躍していること、特にスポーツで成果を出していることは、誇らしいことです。



１０月１３日（火）全体練・法被・続き

運動会全体練習の二回目。本日は開会式、閉会式、移動の練習も行いました。校歌の合唱が今一つだったので、もう一度歌うことにしました。担当からは「なぜ運動会で校歌を歌うのか」という話がありました。「５２年間の伝統を引き継ぐこと」「みんなの心を一つにして、行事を成功させる意欲を高めること」の２つを扇っ子に伝えてくれました。当日は、扇小らしい迫力ある校歌、運動会の歌、応援合戦をお見せできると、信じています。



三年生の教室からにぎやかな歓声が聞こえてきました。運動会で着る法被が配られ、名前を書き終わった子が、実際に着ているところです。とっても楽しそうに、そして苦労しながら着ています。先生や友達に手伝ってもらっている子もいます。「かわいー」など友達の姿の感想を言い合っている子もいます。着たまま動くこと、そして脱ぐことに、とても苦労している子もいました。いずれにしても気持ちを高めてくれるモノとの出会いでした。



２０分休み、１，２年生が７，８人で校長室にやってきました。サッカーの試合で優勝したので、保護者とともに報告に来ることは、事前に知らされていました。その時刻に校長室で待っていると、廊下から声が聞こえてきます。



なかなかドアを叩かないので耳をすましていると、どうやら誰が賞状を持つか、トロフィーを持つかで、少しもめているようでした。多少の「我が我が」があった方が、スポーツをするには適しているのかもしれません。

１０月１２日（月）スポーツの日



三連休の最終日。スポーツの日、天気も良かったので少し長めに散歩をしました。散歩の楽しみの一つに、犬と出会うことがあります。飼い主と楽しそうに歩く犬や、公園で走り回る犬を見るだけ癒されます。本日は、数匹の猫にも会いました。犬のように力強く動いてはいませんでしたが、外で元気よく走り回っているのでしょう。帰宅すると、家猫の愛猫は、気持ちよさそうに眠っていました。

１０月１１日（日）選手権



PC に今週の選手権の回答が６０近く届きました。朝７時に起きて取り組んでくれる子が増えていて、嬉しい限りです。一年生もたくさん回答してくれています。今回は第３回扇っ子ならべかえ選手権。ちょっとひねった問題を見つけたので、出題してみました。急いで回答した子ほど、間違えが多かったのですが、チャレンジ精神が多い扇っ子を誇りに思います。

１０月１０日（土）体育祭



向原中学校の体育祭を観てきました。昨年度扇っ子六年生だった生徒も、張り切って活動していて嬉しくなりました。中学校体育祭は、何度見ても生徒の主体的な動きに感動します。審判や応援、移動などなど、生徒が声をかけ合って全体が動いています。その声が躍動的な姿を生んでいると感じます。天気は最高でした。来週の土曜日も、この天気をお願いしたいです。

１０月　９日（金）練習・給食・続き



２０分休みの様子です。３時間目は五、六年生集団演技の練習があるようで、五、六年生がフラッグをもって校庭に出てきました。放送の確認なのかおんがくが流れると、誰からともなく練習が始まりました。その輪はどんどん広がっていき、１００人近くの子が自主的に練習を始めました。「次の時間の体力、大丈夫かな」とつい思ってしまいましたが、自走する子たちは意欲的です。



一年生の給食の様子は、毎日観察することにしています。この日もおいしそうに食べ始めたのを見て、安心しました。すぐーるで呼びかけている〝給食の感想〟も、金曜日だけは一年生にも送っています。徐々にその返信も増えてきて、この日は２０人ほどの子が、感想を送ってきてくれました。（ＨＰ「おいしい扇給食」：扇っ子の感想を参照してください）おいしく楽しんで食べていることが、この感想からも分かります。



四年生の研究授業。国語、「ごんぎつね」。この時間は、この名作の続きを考えようという課題でした。この課題は、このクラスの子からでた「？」から生まれたということです。すでに家で考えてきた子もいたようで、やる気満々で取り組んでいました。ただ続きを考えるのではなく、ごんと兵十の関係性を大切にして作りました。扇っ子が自走して学ぶ姿を、先生たちと確認できました。

１０月　８日（木）全体練・かさ・準備



来週の運動会に向けて、一回目の全体練習をしました。最高の天気。「本番もこの天気だったらいいのに」と、つい近くにいた職員に話してしまいました。「本番も」と思ったことが、まだありました。整然と整列できたこと、何より扇っ子が本気で取り組んでいる姿です。応援や大玉など、初めて取り組んだことばかりでしたが、きっと本番は大きな感動がある、そう確信しました。

一年生が算数で、かさ（体積）の学習をしていました。２つのペットボトルでどちらがたくさん水が入るかを、学び合いました。くらべる方法として、片方（大きいと予想する方）に水を入れて、もう片方に入れてみるという活動に取り組むことになりました。おおよそのグループが予想通りだったようですが、子供たちが一番おどろいていたこと、それは「こんなにたくさん水が入るんだ」ということでした。



六校時は、五六年生による運動会の準備です。それぞれの担当する仕事を進めたり、美化活動を行ったりしてくれました。放送委員会の子は、本番さながらに徒競走の実況練習を進めていました。「白組速い！」「緑組がんばってください！」「白組もがんばってください！」「緑組、追い抜きそうです！」。実際に走っている子を見ての練習です。練習なので、走る子もゆっくり。「本番、本気で走ったらもっと難しいぞ」。誰かがつぶやいていました。



１０月　７日（水）除草・習字・演奏

全校除草、今年度二回目です。昨年度は暑さのために一回、一学期は行いませんでした。今年は除草しやすい気候で、昨年度よりもはかどりました。子供たちの感想にも「暑かった」という言葉はなく、「楽しかった」「気持ちよかった」というものが、多数を占めました（「扇っ子の声」参照）。徳に一年生は、六年生と一緒に行ったので、達成感も大きかったようです。運動会に向けて、学校がきれいになりました。



久しぶりに習字の授業を見ました。先生からは「肘」についてのアドバイスがありました。手の使い方です。子供たちは素直にそれを実行して、きれいに書けるようになる経過を見ることができました。ちょっとした声かけで活動がスムーズになったり、気持ちが変わることは多々あります。学校は日々、先生が様々な声を子供にかける場所。その言葉を、より効果的なものにしていきたいです。



きれいな音が聴こえてきたので、音楽室に入って見ました。リコーダーのきれいな音、吹いていたのは先生と一人の子でした。アルト、ソプラノを同時にふくと、こんなにきれいな演奏になるのだと、感激してしまいました。この演奏を、今後、ペアで作っていくようです。私と同じような感想を持った子たちは、きっと「きれいな音を作ろう」と張り切って取り組んでいくことでしょう。



１０月　６日（火）隣を・カメ・席替え

三、四年生の運動会練習では、少し難しい活動に取り組んでいました。隣の子が腕を振り上げ降ろしたら、自分も同じことをするのです。ドミノのように、子供たちがしゃがんでいくのですが、時間通りに終わりません。曲のある部分でこの動きをする計画らしいのですが、半分もできない状況です。先生たちも、そして子供たちも、どうすればいいかを、真剣に考えていました。本番を乞うご期待！



久しぶりに、カメが甲羅干しをしているところを見ました。気持ちよさそうに、体をいっぱい伸ばしています。一人ではなく、二人が、この姿勢で止まっていました。久しぶりの秋晴れ、子供だけでなくカメも喜んでいるようです。一緒にいた職員とも、カメの話題で盛り上がりました。私たちを見ても安心して甲羅干しをしている子と、寄ってくることもあること、扇小の人間を信頼しているのだと思います。



あるクラスでは、席替えが行われました。新しい席を先生が告げ、その席に行った子は、近くの子と目を合わせ「よろしく」と言葉を交わしています。この姿がとっても微笑ましいものでした。それだけでなく、これまで一緒のぐるーぷだった子にも「これまでありがとう」と伝え合っているのです。いざ自分の机と椅子を運び、これからの新しい席に移動すると、握手や抱擁をする子もいました。



１０月　５日（月）収穫・睡眠・おくら



朝、二年生の子とすれ違いました。三人は、何かを大事そうに持っています。聞くと「野菜が獲れた」と教えてくれました。「今日の収穫です」と、自慢してくれました。ピーマン、キュウリなどが、かごにたくさん入っています。先生のところに、届けに行くところだったのです。自分たちで育てた野菜、収穫を喜ぶ気持ちは、きっと心を豊かにしてくれているでしょう。



児童朝会では、各クラスで生活委員会が作ってくれた動画を見ました。私は全部を見ることができなかったのですが、送ってくれた感想で、この動画のメッセージを知ることができました。「しっかり睡眠をとること」「そのためにも、夜、ゲームや動画視聴を控えること」「優しい言葉で人間関係をよくすること」です。低学年の感想には「８時に寝ます」「ゲームは１時間までにします」「スマホを触らないようにします」などの言葉がたくさんありました。



三年生の理科では、おくらとその種の観察を教室で行っていました。各班に配られたものを見て、気づいたことをノートに書き続けていました。「五角形」「触るとちくちくする」「野菜のにおい」「先がとんがっている」「硬い」など、五感を使った〝気づき〟だけでなく、「食べたらおいしそう」「中にはたくさん何かがありそう」といった、「？」から生まれた予想を書いている子もいました。

１０月　４日（日）蜂の巣



金曜日、下校時にハチに刺された子がいます。数日前からスズメバチの巣ができたことは耳にしていたのですが、木の中に作られてしまい、なかなか手が出せずにいました。被害が出たので、業者に連絡して、何とか駆除できました。金曜日は遅くまでかかったようです。本日、職員室の掲示を見て、安心しました。雨が続いたことで、晴れた日のハチが活動的になるとは知っていたのですが、今後、早期対

応に努めていきたいと反省しました。

１０月　３日（土）運動会



近隣幼稚園の運動会にお招きいただきました。年長さんの演技は、とっても素晴らしかったです。鼓笛隊のパレード、リレー、組体操、どれも「かっこいい」と思いました。きっとたくさん練習したのだろうと想像したのですが、閉会式では園長さんから「雨であまり練習ができなかったのに、本当によくできました！」との言葉で、驚きが増しました。小学校でも、張り切って取り組んでもらえそうです。

１０月　２日（金）あいさつ・〇〇産・ゴー



生活目標朝会では〝あいさつ〟と〝チャイム着席〟の話がありました。担当の先生は、四月に着任したばかりの思い出を話してくれました。自分のことを知らないはずの六年生が、目を見てあいさつをしれくれた。とっても嬉しかった。という話です。扇っ子の感想には、「目を見てあいさつをしたい」「六年生のように素敵な人になりたい」というものが、とても多かったです。



三年生が社会で、商品（食料品）がどこで獲れたのかを学び合いました。先生がたくさんの資料を用意してくれていた、子供たちは「〇〇産」の文字を見つけては、驚いていました。青森産、北海道産などに混じって、ニュージーランド産、カナダ産、チリ産などがあり、地図で調べ出す子もいました。世界中、いろんなところで獲れたものを自分たちが買って食べていることを、実感したようです。



一階渡り廊下から、かわいい歓声が聞こえてきました。行ってみると、一年生が図工で作った〝ふわふわゴー〟を走らせているのです。廊下の端から端まで走らせている子もいれば、同じところでグルグルと回らせている子もいます。自分が作った作品が、楽しそうに走っている姿を見るのは、本当に楽しいようです。その姿を見ていた私

も、本当に楽しい気持ちになりました。

１０月　１日（木）体育祭・速報・声

順延での実施となった、第 76 回小学校体育祭・北ブロック大会が実施されました。豊岡小学校にて、東町小学校、黒須小学校との４校で６つの競技を行いました。昨年度は暑さのために、今年は雨のために十分な練習はできなかったのですが、扇っ子は全力を出してくれたと思います。他校の子の能力に驚いたり、競技前に緊張したり、友達と一緒に応援し合ったり、とても貴重な経験をしたと考えます。結果については、総合的に〇でした。



５、６年生が市内体育祭でがんばって勝ち取った結果を、四年生が放送で伝えてくれました。正式記録ではなく、私が見届けた一位の子の名前を、伝えてもらいました。60m ハードル、100m 走、リレーで、各レースで一位になった子の名前を放送したのです。四年生なので、委員会活動等で放送する経験はありませんが、ぶっつけ本番で、速報をしっかりと、伝えてくれました。



市内体育祭を見ていて、心配になったことがありました。応援で声をからしている子がとても多かったこと、特に六年生は、ものすごい声で、友達を応援していました。閉会式終了後、担当に「午後、音楽はあるか」を尋ねてみると、「ある」とのこと。声がでるのか、きれいな合唱ができるのかと心配でしたが、音楽室ではいつも通りの扇ハーモニーを聴くことができました。

